

ぎゅっ

ジェズ・オールバラ/作・絵
徳間書店

森の中を散歩していたジョジョくん。ともだちがみんな「ぎゅっ」としているのをみているうちに、ママが恋しくなってしまう。

読み終わったら、「ぎゅっ」としてあげてくださいね。

いいおかお

松谷 みよ子/文 瀬川 康男/絵
童心社

松谷みよ子あかちゃんの本シリーズ。

ふうちゃんが、にこっと笑っていいおかおをしています。そこへ「いいおかおをみせてー」とねこがやってきます。

ふうちゃんのかわいい表情につられて、ねこもいいおかおをします。次々にやってくる動物たち、みーんないいいおかおになっていきます。

優しい言葉と絵で楽しませてくれる絵本です。みんなの「いいおかお」はどんなかおですか？

おいしいねおいしいよ

わかやま けん/作 童心社

あかちゃんのたべもの

ながお ひろすけ/作・絵
PHP研究所

たんたんぼうや

神沢 利子/文 やぎゅう げんいちろう/絵
福音館書店

このゆびとまれ

平出 衛/作 福音館書店

のびのびのーん

川上 隆子/著 アリス館

うずらちゃんのかくれんぼ

きもと ももこ/作 福音館書店

はしるのだいすき

和歌山 静子/作 福音館書店

表情・からだを
伸ばす

あつぷつぶ

中川 ひろたか/文 村上 康成/絵
ひかりのくに

「だるまさん だるまさん にらめっこしましょ わらうとまけよ あつぷつぶ」ページをめくる度、子どもたちが大好きなかわいい動物が登場します。進んでいくと、最後は、大好きなお母さんとあつぷつぶ。歌いながら進んでいくと、お互い笑顔になってくるでしょう。

スキンシップにもなり、日ごろ忙しいお父さんにもおすすめの一冊です。



絵本に
なれてきたら

おおきなかぶ

トルストイ再話 内田 莉莎子/訳 佐藤 忠良/画
福音館書店

おじいさんがかぶを植えました。甘い元気のよいとてつもなく大きいかぶができました。かぶは大きすぎておじいさん一人ではぬけませぬ。呼ばれた助っ人たちはおばあさんに孫に犬にネコにねずみ。「うんとこしょ どっこいしょ」、みんなで力をあわせませぬ。大きなかぶはぬけるでしょうか。おなじみのロシア民話です。

ふくろうのそめものや

松谷 みよ子/文 和歌山 静子/絵
童心社

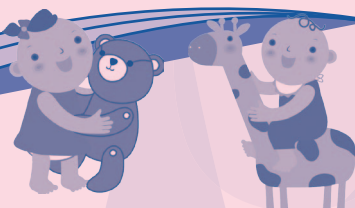
むかーしむかし、からすの体は真っ白でした。からすは他の鳥たちのきれいな色を見てうらやましく思い、ふくろうのそめものやへ出かけていきます。そしてふくろうにあれこれ色を付けてもらいますがどれも気に入りません。そこでおこったふくろうはカッとして……。

からすが黒色になった理由を貼り絵でコミカルに描いています。

佐賀県立図書館100周年記念事業

あかちゃんに おすすめしたい絵本

— 1・2歳から —



たべもの

バナナです

川端 誠/作
文化出版局

バナナです。

皮をすっかりむかれても、まだ青くっても、犬にそっぽ向かれても、バナナはいつでもバナナです。

「あなたはあなたのままでいいんだよ」という作者の思いが込められた絵本です。



いちご

平山 和子/作
福音館書店

「あ、ちいさいいちごがなった。」「いまにおおきくなりますよ。」と母と子の会話形式で進められていくので、赤ちゃんに親しみやすさを与えます。見開きいっぱい描かれたみずみずしいいちごが見る側を魅了します。

一粒もいで赤ちゃんのお口にはこんであげましょう。

いちごの成長を丁寧に追った絵本です。

しろくまちゃんのほっとけーき

森比 左志/文 わだ よしおみ/文 わかやま けん/絵
こぐま社

しろくまちゃんがお母さんと一緒に、ほっとけーきをつくります。

ほっとけーきがふくらんでいく様子があつてもおいしそうに描かれ、思わず食べたくなります。

おにぎり

平山 英三/文 平山 和子/絵
福音館書店

手の中で、くるっくるつとまわしてのりを巻けば、三角おにぎりのできあがりです。やさしいタッチの絵は、おにぎりを握る手もやわらかであたたかそう。盛られたお皿に思わず手が伸びるほどおいしそうなおにぎりの絵本です。



佐賀県内公共図書館児童サービス研究会作成

